

平成30年度学校保健統計調査の結果速報(山形県)について

【調査結果の主なポイント】

- 身長・体重は、男女ともにすべての年齢で全国平均を上回っている。
- 肥満傾向児出現率は、男子はほとんどの年齢で、女子はすべての年齢で全国平均を上回っている。
- むし歯（う歯）の者の割合は、当該項目調査開始（昭和45年度）以来、幼稚園、中学校、高等学校で過去最低になっている。

【調査結果の概要】

< I 発育状態 >

1 身長（平均値）（全国順位の3位以内の区分を年齢順に記載。以下同じ。）

[男子]	5歳	111.0 cm	全国3位	(H29: 111.4cm 全国1位)
	8歳	129.5 cm	全国2位	(H29: 128.3cm 全国15位)
	10歳	139.8 cm	全国3位	(H29: 139.5cm 全国7位)
[女子]	12歳	152.8 cm	全国2位	(H29: 153.1cm 全国1位)
	15歳	158.2 cm	全国1位	(H29: 157.7cm 全国3位)
	17歳	158.4 cm	全国2位	(H29: 157.6cm 全国22位)

- ・身長の平均値は、男女ともに調査開始（昭和23年度）以降、伸びる傾向にあったが、概ね平成15年度頃までに各年齢でピークを迎え、それ以降はほぼ横ばいで推移している。

2 体重（平均値）

[男子]	6歳	22.0 kg	全国2位	(H29: 22.0kg 全国4位)
	8歳	28.5 kg	全国3位	(H29: 27.5kg 全国12位)
[女子]	14歳	51.3 kg	全国3位	(H29: 51.0kg 全国7位)
	15歳	53.5 kg	全国2位	(H29: 52.8kg 全国5位)
	16歳	54.5 kg	全国2位	(H29: 53.7kg 全国4位)

- ・体重の平均値は、男女ともに調査開始（昭和23年度）以降、増加したが、概ね平成15年度頃までに各年齢でピークを迎え、それ以降は年齢によって微減傾向になっている。

3 肥満傾向児の出現率

[男子]	6歳	7.99%	全国3位	(H29: 7.08% 全国4位)
	9歳	15.39%	全国1位	(H29: 10.67% 全国17位)
[女子]	8歳	11.61%	全国1位	(H29: 9.18% 全国6位)
	16歳	12.51%	全国1位	(H29: 7.46% 全国25位)

- ・全国と比べて、男子は5歳の2.50%（全国2.58%）と13歳の8.01%（同8.73%）を除く各年齢で、女子は全年齢で上回っている。

< II 健康状態 >

1 裸眼視力 1.0 未満の者の割合

- ・全国と比べて、小学校と高等学校は下回っているが、中学校は上回っている。
- ・前年度と比べて、小学校は横ばい、中学校は増加し、高等学校では減少している。

小学校	30.0% (H30)	29.9% (H29)	34.1% (H30 全国)
中学校	58.9% (H30)	58.6% (H29)	56.0% (H30 全国)
高等学校	66.6% (H30)	85.3% (H29)	67.1% (H30 全国)

2 鼻・副鼻腔疾患の者の割合

- ・全国と比べて、幼稚園を除き、小学校、中学校、高等学校で上回っている。
- ・前年度と比べて、小学校は増加し、幼稚園、中学校、高等学校では減少している。

幼稚園	2.4% (H30)	4.6% (H29)	2.9% (H30 全国)
小学校	15.6% (H30)	14.8% (H29)	13.0% (H30 全国)
中学校	16.3% (H30)	16.5% (H29)	11.0% (H30 全国)
高等学校	10.8% (H30)	15.2% (H29)	9.9% (H30 全国)

3 むし歯（う歯）の者の割合

- ・全国と比べて、幼稚園、中学校、高等学校は下回っているが、小学校では上回っている。
- ・前年度と比べて、幼稚園、中学校、高等学校は減少し、小学校では増加している。

幼稚園	32.6% (H30)	41.1% (H29)	35.1% (H30 全国)
小学校	49.6% (H30)	48.7% (H29)	45.3% (H30 全国)
中学校	29.7% (H30)	30.6% (H29)	35.4% (H30 全国)
高等学校	37.5% (H30)	41.2% (H29)	45.4% (H30 全国)

4 ぜん息の者の割合

- ・全国と比べて、中学校は同率で、幼稚園、小学校、高等学校は上回っている。
- ・前年度と比べて、小学校と中学校は減少し、幼稚園と高等学校では増加している。

幼稚園	1.8% (H30)	1.2% (H29)	1.6% (H30 全国)
小学校	4.1% (H30)	5.1% (H29)	3.5% (H30 全国)
中学校	2.7% (H30)	3.0% (H29)	2.7% (H30 全国)
高等学校	2.4% (H30)	1.5% (H29)	1.8% (H30 全国)

学校保健統計調査とは

- 1 目的：学校における幼児、児童及び生徒の発育及び健康の状態を明らかにすること。
- 2 調査対象：国立、公立、私立の幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校、高等学校の満5歳から17歳までの児童等の一部。
[抽出率] 発育状態：全幼児、児童及び生徒の11.4% (13,244人)
健康状態：全幼児、児童及び生徒の47.8% (55,470人)
- 3 調査事項：学校保健安全法により実施される健康診断の結果に基づき、児童等の発育状態（身長、体重）及び健康状態（疾病・異常の有無）を調査。
- 4 調査時期：平成30年4月1日から6月30日の間に実施。
- 5 公表時期：速報 平成30年12月21日
確報 平成31年3月（予定） 学校保健統計調査結果報告書（文部科学省）